

Press Release



TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.

2023年6月9日

各 位

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 合田 一朗
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
証券コード 8616 東証プライム・名証プレミア

東海東京証券 「独立行政法人国際協力機構 サステナビリティボンド」引受けのお知らせ

当社の子会社である東海東京証券株式会社による、独立行政法人国際協力機構が発行するサステナビリティボンドの引受けについて、お知らせいたします。

以 上



2023年6月9日

各位

東海東京証券株式会社
名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

「独立行政法人国際協力機構 サステナビリティボンド」引受けのお知らせ

当社はこのたび、独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」という）が発行するサステナビリティボンド「第73回国際協力機構債券」（10年債150億円）の引受けにおいて、共同主幹事を務めましたのでその概要についてお知らせいたします。

JICAは、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に実施する機関として、開発途上地域等の持続的発展支援に向けて日本政府の国家戦略等における重要な役割を担っており、JICA債は、日本政府からSDGs達成に向けた資金動員ツールとして政府施策に位置付けられています。

JICAは、2023年4月7日に、「JICA ソーシャル/サステナビリティボンド フレームワーク」を新たに公表しました（第三者機関であるムーディーズよりセカンド・オピニオンを取得）。今回はJICAの国内債として初となるサステナビリティボンドであり、調達資金は、JICAが開発途上地域等で実施する有償資金協力業務に充当される予定です（但し、石炭火力発電事業への出融資を除く）。有償資金協力事業すべてが社会的課題の解決に貢献する事業であり、一部は環境面の課題解決にも貢献する事業が含まれます。

当社は、地域・人を大切にする信念をもつ金融グループとして行動指針「“Social Value & Justice” comes first」を掲げ、金融・資本市場の担い手としてSDGsへの貢献の重要性を認識し、持続可能な社会の実現、SDGsの達成に向けて取り組んでいます。今回のサステナビリティボンドの引受けを通じて、グローバルな視点で社会的課題および環境課題の解決に向けて貢献してまいります。

「独立行政法人国際協力機構 サステナビリティボンド」概要

| | |
|----------|-------------------------------|
| 発行体 | 独立行政法人国際協力機構 |
| 名称 | 第73回国際協力機構債券 |
| 年限 | 10年 |
| 発行額 | 150億円 |
| 利率 | 0.681% |
| 発行価格 | 額面100円につき金100円 |
| 主幹事 | 野村証券（事務）、SMBC日興証券、大和証券、東海東京証券 |
| 条件決定日 | 2023年6月9日（金） |
| 払込日（発行日） | 2023年6月23日（金） |

以上